

# 全国一般全国協

2006年10月24日 No.85

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

## 労働法制改悪反対！教育基本法改悪阻止！安倍反動内閣打倒！を軸に06秋の闘いを全力で取り組もう！

全国一般労働組合全国協議会は9月9日～10日に、全国からの代議員、傍聴、来賓など100名の参加で、第16回定期大会を成功裏に開催した。この成功を受け、組織の力を結集し、06秋闘争に立ち上がることを呼びかける。

**労働契約法制、労働時間法制の改悪を阻止しよう！  
12・5全国集会 日比谷野首に全国から結集しよう！**

政府・厚生労働省は、何が何でも07年国会に上程しようと、年内に労働政策審議会日程を無理矢理入れてきた。

労働時間規制は全世界の労働者が百数十年かけた闘いの積み重ねの中から作り上げてきたものだ。  
この規制を取っ払い、過



安倍新首相就任直後、日中、日韓首脳会議の開催、

労死を促進する日本版エグゼンション導入を許すことは出来ない。また、一方の労働条件不利益変更を押し

**超反動の安倍政権と対決し、  
教育基本法・憲法改悪阻止、反戦・平和の闘いを！**

しつづける労働契約法を断固阻止しなければならぬ。反対運動を全国から起こしていこう。各地で学習活動を強め、労働局申し入れや街頭宣伝、労政審委員への抗議・要請行動を積み上げ、「許すな 過労死促進法！人らしく生きるための労働時間・労働契約法制を！12・5全国集会」を成功させ、これ以上の労働法制改悪を断固阻止しよう。

北朝鮮の核実験実施と、東アジア情勢がめまぐるしく

動いた。安倍は自己の歴史認識と日中、日韓関係の修復との矛盾を抱えながらも、北朝鮮の核実験を口実に、強行政治姿勢を取り始めている。  
そして、今臨時国会で、愛国心教育の強制を目論む教育基本法改悪、共謀罪の新設などを強行しようとしている。その先に、憲法改悪を準備しようとしている。また、米軍再編に伴う日本の基地再編強化も、今秋重要な局面を迎える。安倍反動政権と対決し、反戦・平和を求める闘いに取り組もう。

**労働組合の力で、生活と権利を守ろう！**

**労働組合を作ろう！**

多くの労働相談が全国の組織に寄せられている。労働者が個々に分断され、経営者（資本）の意のままに働かされている現状、そこでの労働者の怒り、悩み、苦しみが伝えられる。

この視点に立って、「人のために生きよう」（東部労組石川副委員長著）をテキストに、全国で「組合を作ろう」運動に取り組もう。組織化の闘いを通年の闘いとして取り組もう。

それを解決する力が必要だ。それは労働組合だ。組合を作ろう。集团的労使関係で個別労働相談を解決し

ていこう。16回大会では、労働組合組織化の重要性について議論された。

# 9・28 秋の共同行動立ち上げ集会に一五〇人

9月28日、「就業規則改悪の労働契約No! 残業代を取り上げる労働基準法改悪No! 06秋の共同行動立ち上げ集会」が開催された。会場の渋谷勤労福祉会館には150名が集まり、司会の中島・東京なんぶ書記長の開会の言葉を、鴨田弁護士(労働弁護団幹事長)が「労働法制の動向と運動の課題」について約1時間メインの講演を、鴨田弁護士(労働弁護団幹事長)が「労働法制の動向と運動の課題」について約1時間



おこない、労働団体だけでなく労働者の家族やその地域をはじめとした全国的な課題として出来るだけ幅広い運動をと訴えた。そして、労働法制改悪の先取りの実態を明らかにする「現場からの発言」として、①全統一光輪分会が「解雇の金銭解決No!」②なんぶカーレット書記次長が「有期雇用No!」③東部労組菅野書記長が「エグゼンションNo!」

④北関東ユニオンネットの「地域から」の報告があった。さらに、フィリピントヨタ労組を支援する会、韓国山本労組、鉄建公団訴訟原告団から報告・支援要請などがおこなわれた後、遠藤・全国協書記長の団結カンパロウ!でしめられた。



10.10労働法制学習会

# こんな労働契約法制をやらせるな! 京都行動

ユニオンネット・京都

中断していた審議会が再開され、厚労相は成立強行へ猛ピッチ。労働者の反撃を急がないと。分科会委員長の西村教授は京大。7月からゼミ教室へ押しかけ抗議を實行。しかし、ほとんどの人がこの大改悪の進行を知らない。そこで、9月からは若者の多い繁華街、新京極ロック広場で月例の署名呼びかけ開始。音と踊りの均等ネットパフォーマンス、次回からは英語の

# 10・8 韓国山本労組の第四次遠征団が来日



9・13「韓国山本労組を応援する会」結成集会(全水道会館)

韓国山本労組(ソソ委員長・組合員58人)韓国労総(金属労連)の本社直接交渉を求める第四次遠征団(10/8~10/22予定)の3人が来日した。韓国馬山自由貿易地域で1973年から時計文字盤生産をはじめた(株)韓国山本(ソ社長・従業員71人)の業績悪化を理由とした一方的廃業(本年6/30)・社長行方不明(7/11)という事態の中で、本社の山本製作所(東京板橋区)に対し、雇用保障と工場再稼働を要求し、今夏7月27日より第一次日本遠征闘争団を派遣してきた。しかし、一切の回答・対話を拒否し続けている本社闘争のために、今次、昼間の本社前終日座込み闘争に引き続いて、全労協主催の「10・10労働法制改悪反対! 学習決起集会」に参加し支援を訴えた。一昨年の韓国シチズン争議のように、地元韓国では「自由貿易地域の日本資本を含む外資は何十年間も利益を出した後、韓国労働者の生存権にはお構いなしに突然と資本撤収(海外移転)していく」との批判の声が高まっている。支援連帯を呼びかけます。

9・27

### 由倉争議報告集会を開催

由倉工業労組

9月27日、佐野市のホテルマリアーージュにおいて中岡委員長、平賀副委員長、遠藤書記長も参加して、由倉争議勝利争議報告集会が開催された。パーティには、佐野地区労を中心に支援共闘会議の90名が参加、地域の運動の勝利と闘えば勝てるという自信を胸に祝杯を挙げた。

由倉では、昨年12月の有給休暇をめぐる東京高裁判決で7回目となる法廷闘争の勝利を勝ち取り、会社は判決には従ったものの、謝罪や反省を拒否したままであった。しかし、4月には小倉社長は持っていた株をすべてポンプ最大手の荏原製作所に売却、(株)由倉は荏原製作所の100%子会社



となり、6月には、新会社として(株)荏原由倉ハイドロテックが発足している。集会では、由倉労組のメンバーが登場すると会場から大きな拍手が沸き起こり、最後に嶋田委員長が挨拶、これまでの御礼と新会社における組合員の拡大に向けた決意を表明し、寺内支援共闘会議議長の団結カンパニーで閉会した。

10・3

### 少年写真新聞社闘争集会・抗議デモへ160名の結集!!

10月3日、飯田橋の東京しごとセンターで、「少年写真新聞社闘争支援共闘会議第4回総会」が行われました。そして、その後地域



デモが行われました。当日は、約160名の仲間の参加により、闘う決意を再確認するとともに、会社への怒りを込めた抗議の声を九段下に轟かせました。

私たち組合は、会社に対して社会的包囲網を堅持する闘争方針のもとに、定期的なピラマキと、春・秋の抗議集会を支援の仲間と共に行ってききました。

いっぽう、少年写真新聞社は3代目問題を抱え続けています。そこで、松本オ

ナー一族の動向が注目されてきました。

松本一族は遺産配分を進めてきたようでしたが、今年5月に松本照喜前社長が亡くなりました

このことを受けて、前社長の母親・松本みよは(78歳)が代表取締役社長へ就任しました。しかし、これが短期政権であることは明らかです。

少年写真新聞社は、労使関係はもとより会社そのものも大きな曲がり角を迎え



つつあり、大きく変容していかざるを得ない構造となっています。

このような中で、私たちは10・3抗議集会・デモを行いました。皆さまにはこの状況をご理解いただき、さらに変わらぬご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

10・6

### 東京東部労組 一日総行動

旅行綜研・東京ミモレ

10月6日、秋の嵐の中、全国一般の仲間をはじめ、のべ100名近い仲間の参加で、全国一般東京東部労組1日総行動が行われました。

午前中は、虎ノ門にある旅行添乗員派遣会社「旅行綜研」社前での解雇撤回、未払い残業代の支払いを求める抗議集会。

会社は、ガードマンを雇い、申し入れを妨害するなど、敵対的な対応でした。しかし、参加者の抗議、説得により、最終的には、中岡中央執行委員長、遠藤書記長を先頭に、事務所内で副社長に申し入れを行いました。

プラカードを掲げての「残業代を払わないのは、綜研だ!」「悪いのは、綜研だ!」との真剣なシュプレヒコールが社前に響き渡りました。

午後からは、江戸川区の「東京ミモレ」社前へ。

東京ミモレは、ぬいぐるみなどの玩具を営業販売しています。当該支部の労働者が訴える、この会社の労働実態は驚くべきものです。アパートの一室に押し込められ、「小遣い」数万円のみで働かされた。

殴る蹴るの暴行を加えられた。

会社を辞めたいということと「マグロ漁船に乗せるぞ」と脅迫された。

10ヶ月間、8日しか休みがもらえなかった……

まさに現代の「タコ部屋」労働と言わざるを得ません。

このような前近代的な奴隷労働への抗議と団体交渉申し入れに対して、社長は逃げ回るのみ。

参加者全員が怒りのシュプレヒコールを何度も叩きつけました。

ブログ「労働相談センター・スタッフ日記」[http://blog.google.jp/19681226\\_001/](http://blog.google.jp/19681226_001/)に行動の詳細、写真を掲載しています。ぜひご覧ください。

# 五台中四台は停機中、いつ起きても不思議でない東海大地震 浜岡原発止めよつ裁判、判決は来年10月

安倍川製紙労組

3月24日、志賀原発の運転差し止めを命じる画期的勝利判決のあと「もつと危険な浜岡」では9月から月に一回ペースでの証人調べに入り、来年にはいよいよ判決です。

運転差し止めの仮処分を立ち上げたのが2002年4月、更に本訴を立ち上げたのが2003年7月です。仮処分と本訴が並走しているため、差し止めの判決は

実行されず。また、裁判を始める前から停機している1、2号機に加え、タービンの羽根の大規模な破損によって運転の再開のめどが立っていない5号機など、裁判の進行中に、浜岡原発は次々に止まっています。少なくとも東海大地震が過ぎ去るまで最後の一台をも止める判決を実現しましょう。

## 日本版エグゼンプション、断固阻止！ 役に立つ労働契約法を 決起大集会

主催 日本労働弁護団・全国過労死弁護団

日時 2006年11月16日(木) 午後6時半  
場所 東京・総評会館2階

労政審労働条件分科会は12月にも法制化のための「建議」を出そうとしています。8時間労働制の解体と際限のない長時間労働が強制させられ、また就業規則万能法が作られる危険があります。多くの参加を呼びかけます。

## 東京総行動で 本社に抗議申し入れ

全国協神奈川郡司支部

皆様方の連日の闘いに敬意を表します。2006・9・15東京総行動が大成功に終わりました、大変有り難く感謝しております。

当日の株式会社郡司行動は、月島にある本社マンション前で行いました。月島は下町、人情の街、人の心が通う街！そんな素敵な街での街宣運動、同マンション

に住んでいる方々が黙っている訳は有りません。心優しい住人達は、街宣活動がうるさくて寝てられないと心境を伝えに外へ出てきてくれました。こう言う現状は、全て株式会社郡司が悪いからなのですよと、組合から説明を受け、洪々その場で佇んでおられました。

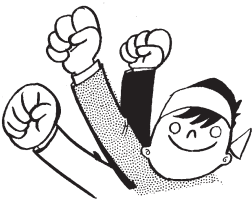
公安の皆様と住人の皆様と我々組合のコンボレーションとなりましたが郡司社長は、顔も出せずに隠れていたのしょう。しかし郡司社長はマンションで一番の

有名人士、隣の町でも有名になる様、次回の総行動も宜しくお願い致します。同時に神奈川県労働委員

会での不当労働行為審問は、9・25に最終審問が終わり次回は和解の話になるのが問題になってきます。

株式会社郡司からの和解案は提示されない状態なので、このまま救済命令が下されれば中労委・行政訴訟に向かっても行くかもしれませんが、郡司社長にメールを送りながら我々郡司支部は付き合っ(あげよう)と思っております。

今後とも皆様の御支援をお願いする時が有るかと思われませんが、どうか宜しくお願い致します。



北陸や岐阜などの紡績工場には、大勢の中国人女工さんが働きに来ている。「女工哀史」的状况に耐えられず、これまで、決起した研修生・実習生は数え切れない。とりわけ2000年の武生の各社からの一斉蜂起は、「現代の野麦峠」として、ゼネラルユニオン争議が内外のメディアに紹介され、完全勝利した画期となった。

以降、中国・タイ・フィリピンなどの労働者の駆込みも続いている。最近では相談だけでなく、労組加盟が増加し、労基署・入管への告発のみならず、団交・争議・労働委・ストなども活用されている。一方、相変わらず、

パスポート取上げ、強制貯金・賃金と残業未払や、中国当局やブローカーへの管理費還流なども後を絶たない。「逃亡防止」で拘束の反

## 中国人研修生・実習生の蜂起

ゼネラルユニオン福井支部

面、少しでも、抗議したり、病気がかかったりすると、「強制帰国」が待っている。工場の屋根裏で寝ている彼女たちの布団をはがし、明け方、会社幹部たちによる拉致で、神戸港や関西空港に連行されるのだ。その危険を察知した労働者は、ゼネラルユニオンのシネラターに隠れ、団交に登場する。逃げ遅れた6月の例では、連行途中の北陸道のトイレに駆込み、通報で駆けつけた警察に、社長らが連行される、という、事件もあった。

また、スポーツ用品大手の「SSK」佐々木工業では、劣悪な寮と職場環境で心身にダメージを受けた実習生が、ゼネラルユニオンに加盟。会社は責任を認めず、団交を拒否しているが、本社が大坂にあることもあり、さっそく「大阪総行動」の標的となること決定している。

「逃亡防止」で拘束の反

「逃亡防止」で拘束の反